第２次滝川市子どもの読書活動推進計画

（2019 年～2023 年）

2019 年３月

滝川市教育委員会

目 次

第１章　子どもの読書活動推進計画とは
１．子どもの読書活動の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．子どもの読書活動推進計画の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３．第２次滝川市子どもの読書活動推進計画について・・・・・・・・・・・・・・・３

第２章　計画の基本的な考え方
１．基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
２．目　標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
３．対　象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
４．期　間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
５．成果の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
６．策定経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

第３章　子どもの読書活動の推進のための方策
１．０歳前・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
２．乳幼児・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
３．小学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
４．中学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
５．高校生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
６．特別な支援を必要とする子ども・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
７．子どもをとりまく大人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
８．アクションプラン一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

資料編
１．子どもの読書活動の推進に関する法律・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料.1
２．文部科学省第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（概要）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料.2
３．北海道子どもの読書活動推進計画［第四次計画］（概要）・・・・・・・・資料.3
４．滝川市総合計画（抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料.4
５．滝川市教育推進計画（抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料.5
６．滝川市子どもの読書活動推進計画（平成 26 年度～平成 30 年度）
成果検証報告書のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料.6
７．滝川市立小学校・中学校の学力の状況及び学力向上策（抜粋）・・・・・ 資料.7
８．滝川市社会教育委員会名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料.8

第１章　子どもの読書活動推進計画とは

1．子どもの読書活動の意義

読書活動は、子どもたちが人生をより豊かにし、生きる力を身につけていく上で欠かせないものです。優れた本との出会いは、子どもの成長や発達に大きな影響を与えます。読書を通じて言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしていきます。

世の中の変化の速度が増し、さらには大きな変化が生じる現代社会においては自ら学び、考え、判断する力が求められます。また、他人を思いやる心など、生きる力を育むことも必要です。そのためには、子どもの頃から読書習慣を身につけることがとても大切です。従って、すべての子どもたちがそれぞれの考え方や個性・発達段階に応じて、いつでもどこでも読書活動ができるような環境の整備が必要です。

子どもの時期に本にふれる機会を充実することは、本を読むことだけではなく生涯にわたって心を豊かにできる友を持つことにもつながります。その最初のステップが家庭での読み聞かせです。読み聞かせは、子どもが親のぬくもりを感じて信頼感を抱き、親は子どもの喜ぶ顔や姿を見て心が穏やかになり、親子の絆が深まっていきます。

読書は、子どもの言葉の発達を促し、知りたいという気持ちを生み出し、考える力を育みます。その結果、子ども自身による自主的な読書活動につながっていくことが、発達心理学（注１）の立場から報告されています。また、学力調査の分析報告（注２）からも、読書好きな児童・生徒ほど教科の学力が高く、科目、学力層、領域、設問形式によらず、この傾向が確認されており、読書と学力は密接に関係していることがわかります。

このように、子どもの読書活動は、子どもの成長に重要な効果をもたらすことから、読書活動の普及・啓発・実践に取り組む指針として本計画を策定し、まち全体で滝川市の未来を拓く「たきかわっ子」の読書を推進します。

注１／「子どもの発達と『読み聞かせ』の効用」（白百合女子大学　田島信元教授）

注２／「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究　ー読書活動と学力・学習状況の関係に関する調査研究分析報告ー」（静岡大学・文部科学省委託事業）

２．子どもの読書活動推進計画の趣旨

平成 13 年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」（注３）が施行されました。その中で政府は、子どもが自主的に読書活動が行えるよう、その環境を整備する観点から、政府の施策の基本方針と具体的な方策を示すとともに、都道府県、市町村においても「子どもの読書活動推進計画」の策定を努力義務としました。

国・北海道においては「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成 25 年５月）と「北海道子どもの読書活動推進計画」（平成 25 年３月）の三次計画が策定され、平成 30 年にそれぞれの第四次計画（注４）が策定されています。

滝川市も、この法律に基づき、すべての子どもが豊かな読書体験を通して、健やかに成長していくために、平成 26 年３月に「滝川市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。この計画は「滝川市総合計画」（注５）（2012 年～2021 年）、「滝川市教育推進計画」（2012 年度～2021 年度）などとの整合性を確保しつつ、滝川市における子どもの読書活動の推進に関する考え方や取り組みについて示しています。

注３／「子どもの読書活動の推進に関する法律」（資料.1）

注４／文部科学省第四次「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」概要（資料.２）

北海道子どもの読書活動推進計画「第四次計画」概要（資料.３）

注５／「滝川市総合計画」（2012～2021）抜粋（資料.４）

注６／「滝川市教育推進計画」（2012 年度～2021 年度）（資料.５）

第２期教育推進計画　事業項目（2017 年度～2021 年度）

Ⅴ　人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える

（16）図書館活動の充実　①学習拠点としての図書館の充実　②子どもの読書活動の推進

３．第２次滝川市子どもの読書活動推進計画について

「滝川市子どもの読書活動推進計画」の計画期間が、平成 26 年度から平成 30 年度の５年間であることから、さらに今後５年間を見通した「第２次滝川市子どもの読書活動推進計画」を策定します。

新たな計画を策定する上で、まず平成 26 年度から５年間の取り組みの成果や課題を検証し（注 7）、第２次計画へと反映しました。

滝川市立図書館では、読書活動がもたらす効果は、大きく２つあると考えています。１つは「情緒」、もう１つは「学ぶ力」を育むことです。この２つの効果は、子どもたちが「生きる力」を身につけていく上で欠かせない両輪であると言えます。従って、これらをバランス良く育成していくことが求められます。

第１次計画では「ブックスタート」（注７）をはじめ、家庭での読み聞かせの啓発、また、図書館や学校、児童館でのおはなし会など、読書活動を通じた親子のふれあいや、子どもたちに読書習慣を身につけてもらうための活動を重点的に取り組んできました。

第１次計画の検証においても、その成果は顕著に表れ、図書館の活動が定着するなど一定の成果を収めることができました。

一方で、「全国学力・学習状況調査」（注８）の結果などを見ると、滝川市内の小・中学生ともに「読み解く力」が伸び悩んでいることがわかります。この結果を踏まえ、図書館では読書活動を通じて「学ぶ力」を育むことが、今後の重要な課題であると考えています。

第１次計画期間中に「滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」の実施に着手し、「調べる学習体験講座」など、体験しながら調べる取り組みを行ってきましたが、まだ途上の段階です。

図書館が「本を読む」「借りる」場であるとともに、「調べる」「研究する」場であることを啓発し、読書活動を通じて「基礎学力」や「調べる力」を身につける取り組みが必要です。

これらを踏まえ、第２次計画は、読書活動を通じて「情緒を育む」取り組みを引き続き継続しながら、子どもたちの「学ぶ力を育む」活動に重点を置いた計画としてまとめました。

注７／「滝川市子どもの読書活動推進計画」（H.26～H.30 成果検証報告書のまとめ）※資料.６

注８／ブックスタート　生まれてきた赤ちゃんへ絵本を贈り、その絵本を通じて、親子の心のふれあうひとときを持つきっかけをつくる取り組み。

注９／文部科学省が実施する全国的な学力調査。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ることを目的としています。※調査結果　資料.７

第２章　計画の基本的な考え方

１．基本方針

本計画は国や北海道の計画において示された基本的方針に基づき、次のとおり基本方針を定めます。

(1)読書習慣を身につけるために発達段階に応じた効果的な取り組みを進めます。
(2)友だち同士で本を紹介するなど読書への関心を高める取り組みを充実します。
(3)家庭、地域、学校など社会全体で取り組めるように、環境や体制の整備に努めます。
(4)行政、企画、団体などと連携を図り、読書環境の充実に努めます。
(5)学校など教育機関との連携をさらに深め、読書活動の推進に努めます。

２．目　標

上記の方針に基づき、滝川市の実情を踏まえて、次のとおり目標を定め、積極的な子どもの読書活動推進に取り組みます。

(1)家庭・地域・学校などを通じた、社会全体での子どもの読書活動の推進
(2)子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備
(3)子どもの読書活動に関する理解と関心の普及
(4)読書活動を通じた、子どもたちの「学ぶ力」を育む取り組みの推進

３．対　象

０歳前から高校生までと、その保護者及び子どもをとりまく大人を、本計画の対象とします。

４．期　間

2019 年度から 2023 年度の５年間の期間で取り組みます。なお、社会・経済情勢、子どもをとりまく環境の変化などに対応していくため必要に応じて計画の見直しを行います。

５．成果の検証

「第２次滝川市子どもの読書活動推進計画」の成果は、子ども向け行事の実施回数及び参加人数や学校の図書館活用回数、児童書などの購入比率、児童書貸出冊数及び件数、年齢別の貸出冊数・件数など、客観的な統計データなどを用いて毎年検証を行うこととします。

６．策定経過

「第２次子どもの読書活動推進計画」は、「滝川市社会教育委員会議」により検討及び策定されました。

2018 年

10 月 10 日（水）　第２回滝川市社会教育委員会議において「第１次滝川市子どもの読書活動推進計画」の成果検証について審議

12 月 17 日（月）　第３回滝川市社会教育委員会議において「第２次滝川市子どもの読書活動推進計画」の素案について審議

2019 年

１月 29 日（火）　教育委員協議会において、素案の審議

２月 12 日（火）　第４回滝川市社会教育委員会議において「第２次滝川市子どもの読書活動推進計画」の成案について審議

２月 15 日（金）　教育委員会会議において、計画の議決

２月 21 日（木）　総務文教常任委員会において、計画の概要報告

第３章　子どもの読書活動の推進のための方策

子どもの読書に対する興味や能力は、心身の発達段階と密接に関係していると言われていることから、それぞれの年齢や発達段階に合わせた読書活動に取り組みます。

１．０歳前

特　性

おなかに赤ちゃんが宿ったときから、子どもへの読書活動は始まっています。これから親となる保護者が、愛情を持って赤ちゃんを迎えるための準備のひとつとして、絵本を通した語りかけがあります。お母さんがおなかの赤ちゃんに読み聞かせをすることで、生まれてきた赤ちゃんがお母さんの声を認識したり、お母さん自身もゆったりとした時間を持ち、心の安定が図られます。

方　針

■子どもの読書の大切さを、これから親となる保護者に伝えます。
■絵本やくらし・育児に役立つ本の情報を提供します。
■「妊婦対象講座 」の参加者を増やす取り組みを、関係機関と連携しながら推進します。

アクションプラン

実施主体	取り組み	区分
家　庭	おなかの赤ちゃんへの読み聞かせ	2019～2023
子どもと大人が集まる施設	「妊婦対象講座」での啓発	拡　充
図書館	おすすめ本の紹介	2019～2023
	母子手帳での図書館利用の案内	
	「妊婦対象講座」での講和	拡　充